

黒潮

和歌山県看護協会会報

平成19年8月発行

第100号

—記念号—



港まつり花火大会

写真撮影 日本赤十字社和歌山医療センター 田中康裕氏

CONTENTS

- 平成19年度通常総会を終えて ……2
- 平成19年度看護協会長表彰受賞者
「受賞された皆様の声」 ……3
- 中央行事 看護フォーラム …4・5
- 1日まちの保健室 ……6・7
- 看護師養成2年課程国家試験合格者の声 …8
- フレッシュナース ……9
- 保健師のコーナー ……10

- 助産師のコーナー ……10
- 看護師のコーナー ……10
- My Hospital ……11
- 私の○○ ……12
- リレーエッセイ ……12
- 平成19年度役員・各委員名簿 …13
- 和歌山県看護協会の動き ……14

会員総数 5,675名

名誉会員 1名

保健師 171名

助産師 177名

看護師 4,487名

准看護師 839名

平成19年8月1日現在

発行所／和歌山県看護協会
発行人／谷 真子

〒641-0036 和歌山市西浜1014-27 TEL 073-446-0605 FAX 073-446-0899
<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

平成19年度 通常総会

平成19年度通常総会を終えて

会長 谷 眞子



去る6月9日に会員の皆さまの参加のもとに通常総会を開催しました。

医療制度改革の流れのなかで、看護を取り巻く環境も激変する状況に於いて、常に感性高く社会の変化を捉え、それに対応した事業展開をすることが求められていると考えます。

そこで19年度の活動方針として、スローガンを「激変の時、看護の力を強化し県民の期待に応えよう」として、重点事業に①

看護三職能の専門性の強化②在宅医療・看護の推進③看護職のキャリア形成に必要な教育体制の構築④災害時の支援体制の強化⑤会員組織の強化等を挙げ承認を得た事業を計画通りに実施しています。

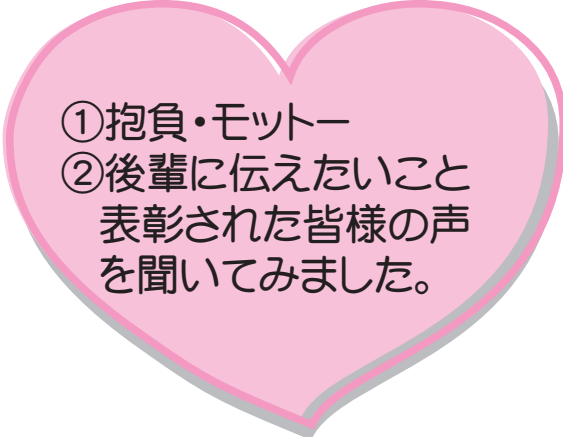
この総会には、18年度総会の「看護研修センターを移転する」とした決議事項を受けて、資金や土地について検討してきたところから具体的な方向性と実現可能な方法について提案しましたが継続審議になりました。総会では、20年前の現研修センターの話もでしたが、私自身当時、現研修センター設立のために結論を出す最後の臨時総会の議長も務め大変な状況を体験しています。それによって、独自の研修センターを持てたことを誇りに思うと共に先輩たちが後輩へ大きな財産を残してくれたことを感謝しています。

この提案に至るまで、各地区支部で開催します施設会員代表者会議で、研修センター建設推進委員会や理事会での討議内容や進捗状況を報告し会員の意見を多く聞きたいと努力してきました。しかし、総会時の状況から情報が伝わっていないことがわかりました。研修センターの建設だけでなく、重要な動きのある時に情報の共有をどのようにするかが大きな課題であると認識しました。

平成6年度から日本看護協会が組織改革し、各都道府県看護協会が法人会員になった時を振り返ってみた時、日本看護協会の支部から社団法人として各都道府県看護協会が独立し自立した組織への大きな改革であることをどれだけ認識できていたのだろうか。

私自身も認識できていなかったように思います。独自の事業展開のために他府県では当時から充実させるべき取り組みをしてきております。私は認定看護管理者制度委員として北海道はじめいくつかの看護協会のセカンドレベルの教育機関の5年後の査察や近畿圏看護協会の会議等で他の看護協会を訪れますが、いずれも将来に向けた取り組みを行い現在に至っております。今更過去には戻れませんので、これからの看護専門職として自信と誇りがもてる和歌山県看護協会づくりをめざすべきだと考えます。これからの看護協会のあり方や会員としての真のメリットについて考える時だと強く認識するとともに、この意味でもこの総会は大きく方向を変える分岐点でもあったと思いました。

平成19年度 和歌山県看護協会会長表彰受賞者



- ①誠意をもって事に当たるように心がける。
- ②お互いに看護の仕事が続けていきましょう。

和歌山看護専門学校2年課程(通信制)

櫻根 桂子



- ①仕事は楽しく!遊びも積極的に!
- ②一期一会一人との出会いを自分の宝に!

和歌山県西牟婁振興局 健康福祉部 保健福祉課
障害保健福祉グループ

西岡 倫代



- ①5H(あたま・心・健康・技術・ユーモア)の調和
- ②人間が好きでなければ、楽しく仕事は出来ない

和歌山県立医科大学附属病院

塩田 美知代



- ①自分になりたい自分になれるよう、50才になってももがいています
- ②「ありがとう、ごめんなさい」でがんばろう

有田市保健センター

野田 すみ子



- ①患者様に寄り添い笑顔のあるあったかい看護
- ②知性を磨き、看護の勉強のため自身への投資

芝けい子助産所

芝 佳子



- ①明るく、楽しく、時には厳しく
- ②安心、安全な看護を提供するためには、確認行為を心がけてください。

橋本市市民病院

森下 里美



- ①「誠心誠意」
- ②何事も「報・連・相」「ほう・れん・そう」で。

上富田町役場

高垣 通代



- ①「不言実行」
- ②「人の気持ちをくみ取れる優しさ」

国保野上厚生総合病院

山下 美幸



- ①やってやれない事はない、常に努力する事
- ②看護はいつも優しい手と目で笑顔を忘れずに

日本赤十字社和歌山医療センター

豊田 達子



- ①「信頼される看護師」を目標に努力しています。
- ②約束は守る。これが信頼されることの第一歩。

和歌山県立医科大学附属病院

山田 純子

5月12日は看護の日「看護の心をみんなの心に」と和歌山県民文化会館で「看護フォーラム」が盛大に開催され、看護学生や一般市民など約1,400人が参加した。

和歌山県警察音楽隊による若さあふれるオープニングの後、谷眞子和歌山県看護協会長による開会宣言が行われた。

最近悲しいニュースが多い中で、「命」をテーマとした今年の看護フォーラムでは、命の大切さとそれに関わる看護を参加者の方々に身近に感じて頂くことが出来、和歌山での中央行事は大成功裡に幕を閉じた。



飛驒千光寺住職・大下大圓氏講演

(第15回日本ホスピス在宅ケア研究会・飛驒高山大会の大会長)

「いのち輝くとき」と題された講演は

「ケアの本質は自己実現を助けること。そして、その人の成長をサポートすること。」

という言葉で結ばれた。



シンポジウム

「命の輝き、あしたつなぐ」をテーマに大森豊緑和歌山県福祉保健部健康局長の司会により3人のシンポジストがそれぞれの取り組みを紹介した。



弓庭喜美子

平成5年から無医村で過疎化、少子高齢化が急速に進む旧花園村の保健師として地域に根ざした保健活動を展開し、地域住民の生活と健康を支えている取り組みを紹介した。

向井君子

2005年より和歌山県看護協会助産師職能委員長として、中・高校生への保健指導等を通して思春期の性教育に精力的に取り組んでいる様子を紹介した。

高野裕子

空飛ぶ救急室「ドクターヘリ」をはじめ救急看護に従事。救急看護認定看護師として、病院内外における救急蘇生に関する取り組みを紹介した。

「看護のある風景」写真コンクール表彰式



最優秀賞・山口光子さん
日本看護協会特別賞・小瀬裕美子さん
gooヘルスケア賞・坪倉義英さんが表彰され、他の作品についても展示された。

それぞれ選ばれた作品は、こぼれるばかりの笑顔と、その場の温かさがとてもよく伝わってくる写真で会場は、ほのぼのとした雰囲気につつまれた。

ホールの外では…

さまざまな催しも同時に開催されにぎわいをみせました！

- ☆まちの保健室
- ☆各種測定と相談コーナー、癒しのコーナー等
- ☆看護学校紹介・看護職への進路相談
- ☆専門看護師・認定看護師の紹介と相談
- ☆看護職の就職相談



1日まちの保健室



「1日まちの保健室」

有田地区支部 野村真佐子

5月13日(日)にオークワ箕島店にて「1日まちの保健室」を開催しました。

今年度は、メタボリック症候群に焦点をあて、血圧・腹囲・体重・体脂肪などの健康診査と予防の健康指導を行いました。

また、子供連れの方を対象に、看護師の格好での記念写真の撮影を行いました。

10時からの予定でしたが、9時30分頃より、住民の方が来られ、13時30分の終了までに健康診査・健康指導が105名・記念撮影66名の合計171名の参加がありました。

昨年まで行っていた場所は、狭かったため、今回場所を変更しましたが、多くの参加者でにぎわいがあり良かったです。

住民の方も、メタボリック症候群については、興味があるようで熱心に説明を聞いておられました。メタボリック症候群についての小冊子をお渡ししたら、「家に帰って家族の腹囲測ってみるわ。」「父親がおなか出てきたのでこの本見せるわ。」等といった反応が見られました。

「1日まちの保健室」

日高地区支部長 田口佳美

日高地区支部は、平成19年5月20日(日)に「1日まちの保健室」を実施しました。

身長・体重・血圧・体脂肪測定および健康相談、幼児対象の白衣体験を実施しました。

当日は天候に恵まれ、192名の方々の参加を得ることができました。各測定後の結果を話すと、日常、自宅で測定している値との差などについて質問される方も多く、健康への関心度が高まっていることを実感し、医療に携わる者として大変うれしく思いました。幼児対象の白衣体験は、参加していただいたお子様に、ポラロイド写真を記念にプレゼントし喜んでいただきました。

地域住民の方々と看護を通じた交流の機会となり、看護師の地域活動を十分アピールできました。

看護師養成2年課程 国家試験合格者の声

私は、2年前 32年ぶりに学生となりました。自学自修に四苦八苦、一日って24時間しかない、と勉強する時間のなさにあせる日々。そして明け方までかけて書き上げたレポートの評価の悪さに落ち込む事もありましたが、「学ぶって楽しい」を実感することもできました。

今春、念願かなって看護専門学校(通信課程)の第1期生として国家試験に合格。「おめでとう」の言葉に「おかげさまで」と感謝の気持ちでいっぱいです。

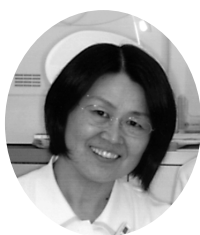
和歌山県立こころの医療センター

堀内 良子

私が、看護師養成2年課程国家試験を終え最初に思ったことは、やっと終わったという気持ちでした。特に、2年目は、紙上事例に追われる日々であり、休日は、見学実習や面接授業になりゆっくりする時間がなく、くじけそうになることも多々ありました。今から思えば長いようで、短いようにも感じる2年間でしたが、いつも、「頑張ってるね」と、声を掛けて応援してくれる人達に励まされ続ける事ができました。

和歌山県立医科大学附属病院

川中 悦子



H17年春の開校を機に「もう一度自分自身のレベルアップのため挑戦しよう」と決意したものの、放送大学の単位修得、看護学校の授業、仕事との両立で大変な2年間でした。しかし自己の目標達成に向け「やるしかない」と意志

力、体力でこつこつと知力を重ね、合格できました。一重に教務の先生方、和歌山労災病院皆様のご指導・ご協力あっての事と感謝しています。今後も社会に貢献できる看護師として努力していきたいと思いを。

和歌山労災病院

尾崎 とみ子

近畿で初めて通信制の学校が出来ると聞き、私の心は喜びで溢れました。チャンスは今だ。推薦にて入学でき喜んだのは束の間。放送大学と学校で62単位を2年～4年で取得するという過密スケジュール、多くの課題に四苦八苦し挫折しそうになりましたが家族、職場の仲間、共に学ぶ同士に支えられ学ぶ事の楽しさを感じながら、目標を果たす事が出来ました。自信の持てる判断力、責任感、看護観を養うよう努力したいと思いを。

日本赤十字社和歌山医療センター

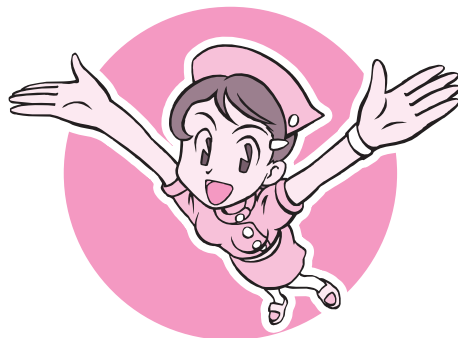
河野 美千代

はじめに、今回看護師国家試験合格という機会を与えてくださった、和歌山県看護協会関係者様とご理解頂いた病院関係者様に深く感謝申し上げます。

さて、この合格までの二年を振り返ってみますと、自己学習と慣れないレポートに四苦八苦し、国家試験合格が入学当初の目標であったのが、二年で卒業することが目標となり、そのうちに四年かかってもいいかなと弱音を吐くようになりました。そんな私をがんばらせてくれたのが、共に学んだ友人のがんばる姿と励ましてくれた。そして何より看護についてもう一度振り返ることができた貴重な二年間となりました。今私は、四月から十一年ぶりの病棟への配置転換であたふたしている毎日です。私自身が、患者様とその家族にとって良い環境となるような看護を提供していきたいと考えています。

日本赤十字社和歌山医療センター

大石 眞佐美



♡++ フレッシュナース ♡++



海南市民病院

山本 知賀

「新たな気持ちで」

私は、看護職から少し離れていた時期がありました。でもどこかで「看護をしたい」という思いを捨てきれず、子育ての合間をみては保健所の予防注射や診療所で看護に携わってきました。そんな10年がたち「もっと看護の勉強をし、看護職として社会に貢献していきたい」という思いが少しずつ膨らみ、このたび家族の理解もあり、19年度の新人として海南市民病院に入職させていただきました。

復帰するに当たり、不安な気持ちもたくさんありましたが、職場において慣れない私を温かく見守り、新人として細やかな指導をして頂いてます。今は患者様とのかかわりで毎日が楽しく、新たな気持ちの連続で身が引き締まります。この気持ちを忘れず、安全安心の看護提供を目標に、これからをもっともっと充実した日々にしていこうと考えています。



医療法人 郷の会 紀の郷病院

看護部 新田 政文

「私が目指す看護師のありかた」

私が目指す看護は、患者さんのことを中心に考えられる看護です。「看護」という言葉から看護師が主体と考えてしまいがちですが、そうではなく患者さんが主体であるという認識をもち働きたいです。患者さんより専門的な知識があるからと優位に立ち「こうするべき」などと、看護師が決める看護でなく患者さんと共に考え、その人らしく社会へ復帰できるような看護をしていきたいです。私は、人の健康や命をあずかる職につき働ける事に日々、やりがいや嬉しさを感じていますが命をあずかるという事に責任感も強く感じており、その責任をしっかりと果たせるよう今後も日々学習や経験を重ね、自己成長しながら職務を全うしていきたいと思っています。



日本赤十字社和歌山医療センター

土屋 垣内 香

「看護師になった私のやりがい」

看護学校の入学式の5日前、私は祖父を亡くしました。そして国家試験の数週間前、祖母を亡くしました。この時私は初めて人の臨終に立会いました。「人はこんなに苦しみながら死んでいくのか」とその時情けなく思ったことを今も思い出します。看護師を目指し、懸命に歩んできた時期に2人の家族を亡くした経験や祖父母に看護師になった姿を見せたかったという思いが、今の私の看護に対するエネルギーになっています。

私は今外科の患者様が多く入院している病棟で働かせて頂いています。今の私の喜びは、手術という一大イベントを乗り越えた患者様が初めて立ち上がった時です。その時の患者様や家族の笑顔がとても嬉しく、やりがいを感じています。



南労会 紀和病院

堀内 妙子

私が所属する急性期病棟は未熟な私にはまだ患者様と向き合う時間をもつことが難しい。学生時代に看護師のあるべき姿を描いていま

したが実践では自分の力不足で思うような看護を提供できないことが多くあります。病棟の雰囲気は明るく、不安でいっぱい心を先輩達が和ませてくれ、先輩達の優しい言葉に張り詰めていた緊張の糸が切れ涙を流したこともあります。先輩達のように細やかな気付きがでる確かな判断、迅速な対応ができるように成長していきたいです。当院は患者様の生活の場を大切に住み慣れた環境での看護も提供されています。当院のシンボルである幸福を運ぶ空飛ぶナース「ウェルビー」に込められた思い「幸福」「権利」を届けていきたいです。



公立那賀病院

助産師 溝端 千佳子

岩出市、紀の川市は高齢者や若者も多い地域である。公立那賀病院は、このような地域に立地しているため、地域の拠点となり医療を担っている。

今年、看護師として就職した病棟は、内科と産婦人科の混合病棟です。病棟の特色としては、生と死を間近で感じることができる場所だと思います。出産があり新生児室には未来ある子どもがいる反面、内科では高齢者が入院し体調が悪いときもあり、時には亡くなられる事もある。出産はうれしいことであり、死は悲しいことである。この気持ちを忘れず、とても貴重な経験をさせてもらっている事を感じながら、患者様へ接していきたい。

出産を迎える患者様には、満足いく出産ができるように、また新しい家族の構築ができるように、内科の患者様には、快適な入院生活を過ごせるように、身体の苦痛が少しでも軽減できるように今できることを考えてケアを提供し、患者様に寄り添った看護をしていきたいと思う。今は業務に追われ患者様と接している時間も気持ちに焦りがある時がある。しかし、少しの時間でも患者様とコミュニケーションをとり、患者様の状態など気付き・観察ができるように努力し頑張りたいと思う。



保健師のコーナー

保健師職能委員長 川口 江美子

平成18年度より保健師職能委員活動させて頂き、あらためて協会員皆様のご協力に感謝申し上げます。平成19年度の保健師職能委員会活動にあたり、現時点における保健師の職務を時代背景から鑑みますと何よりも大きいのは医療制度改革にともなう特定健康診査です。保健師職能委員会の今年度の活動は、「医療制度改革における保健活動」の意義と有効性を方向づけていきたいと考えています。保健師職能集会も先駆的活動を見聞すべく研修会を9月8日に開催予定ですので皆様のご参加をお待ちしております。

さて、保健師も看護協会への加入が減少しておりますが、看護協会は助産師、看護師、保健師の3職種が統合された団体であり、看護職としての情報交換や協力体制が組める重要な団体でもあります。保健師職能委員会も昨年度より「災害保健活動マニュアル（ダイジェスト版）」の策定をしておりますが、災害危機管理においても3職種の協力は必須です。

また、今回の医療保健制度改革に於いても、特定健康診査等のアウトソーシング推進される中、医療機関との連携や保健指導のあり方等、課題は山積みです。このような課題に保健師職能委員会として取り組んでいきたいと考えておりますので、皆様のご指導、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

助産師のコーナー



助産師職能委員長 芝 佳子

今年度、助産師職能委員会活動は、院内助産、虐待、思春期指導をテーマに活動します。「産科医療」「産科医師不足」「出産難民」「助産師」等…マスメディアの中にあふれ、安心してお産のできる環境づくりの必要性が重要になり、今こそ助産師の活躍への期待の大きさを痛感しています。また、助産師自身の中に、「自信がない」「責任が重い」など期待の大きさに戸惑い、新たな課題も起きているのも事実です。

助産のケアはやるほど奥が深く、いいお産をした笑顔が子育ての原動力となります。子育て支援、性教育、更年期相談…女性のライフサイクルにかかわる助産師の役割は大きく、いただく喜びでパワーもです。

私自身、組織から離れ地域での子育て支援に奮闘、勉強中です。

育児不安の母親への温かい一言が母親の笑顔、しいては育児の楽しさにつながっていくと思います。さらに、虐待の減少、出産率の増加に…と期待しています。出産の現場から離れ“命の誕生にかかわる助産師の素晴らしさ”を再認識しています。

助産師職能委員会は、助産師の質の向上とともに、安全・安心・満足なお産の確保に向けた助産体制を確保するため、多くの妊産婦さんや家族の声を味方に活動していきたいと思います。ご協力よろしくお願いたします。

看護師のコーナー



看護師職能委員長 峰 平 一二美

はじめまして。平成19年度から看護師職能委員長をさせていただきます。この様な大役を仰せつかり、身がひきしまる思いですが、せいっぱい頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

昨今、医療に対する国民のニーズは拡大・多様化し、専門職として看護師等に期待される役割は拡大しつつあります。その様な中で、看護者がいきいきと働き続けられる職場づくりは、看護の質向上にもつながり、重要な課題であると思います。

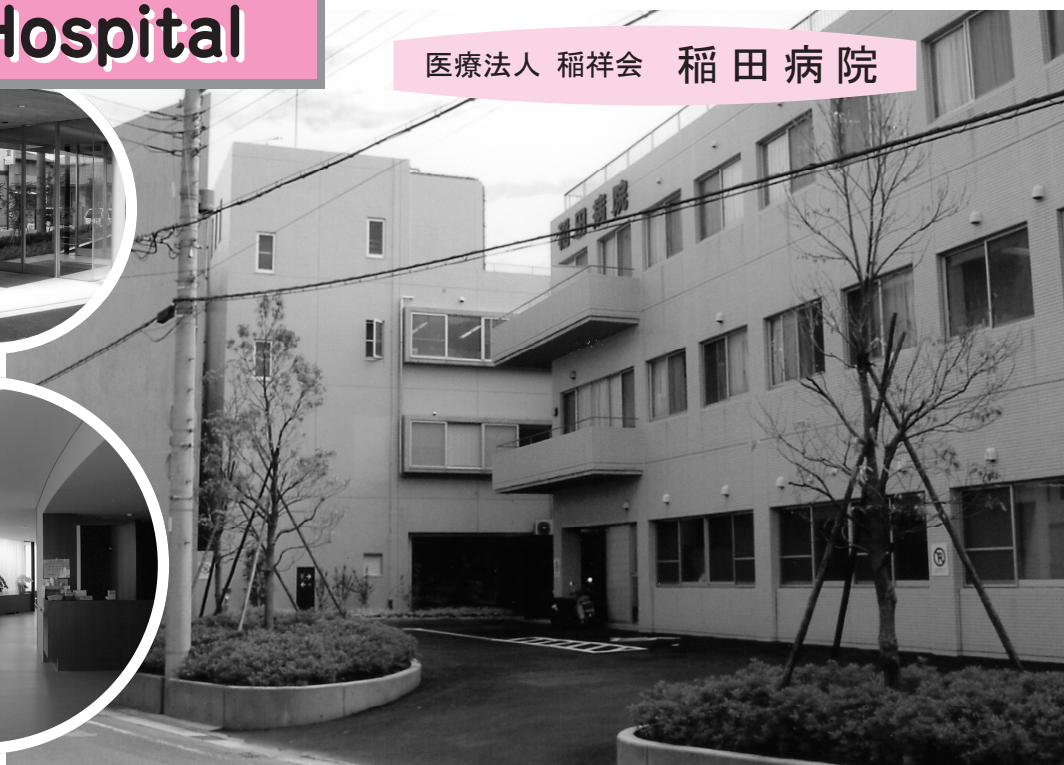
日本看護協会は、現在直面する看護師不足を解決する為に、看護職の労働条件の改善による定着促進・離職防止、新卒看護師が職場に定着できるような看護基礎教育の充実や卒後臨床研修制度の制度化を提言しました。看護師職能委員会においても、1) 卒後研修制度の実現に向けた検討、2) 看護職の子育て支援対策の実態調査を平成19年度の活動としています。

和歌山県看護師職能委員会の方針は「県民の期待にこたえるべき看護の質向上と専門職にふさわしい看護師をめざす」「県看護協会、三職能各委員会、地区支部会員と有効な連携を図る」「会員数5850人をめざす」です。

看護師職能委員長として、日本看護協会の動きを視野に入れ、和歌山県の看護の質向上にむけた活動をしたいと考えております。9月8日(土)には、職能集会を開催致しますので、会員の皆様、多数のご参加をお待ちしております。

My Hospital

医療法人 稲祥会 稲田病院



いちご電車でおなじみの和歌山電鉄貴志川線に乗り、竈山駅を降りると目の前に当院の裏入り口が見えます。

当院は、昭和34年有床産婦人科医院としてスタート、以来「親切第一」を病院の基本理念とし、地域の皆様に支えられ愛されてきた病院です。

平成2年老健かまやま苑、平成5年医療法人稲田病院から稲祥会と改め、介護支援センター、平成11年訪問ヘルパーステーション、平成14年療養病棟が発足しました。



又、昨年12月には、小児科が開設され、医師を募って来られる方も多く、院内もにぎやかになっております。

本年4月には、産婦人科病棟として別館が増築され、全個室でホテル風なおしゃれな外観と落ちついたあたたかい木目調の部屋の調和が生かされております。

16床それぞれの間取りが違い、OP等でベッドの配置が必要な時以外は、基本的に患者さまが選べるようになっていきます。

現在、診療科は内科、消化器科、小児科、産婦人科、眼科、リハビリテーション科で、病棟は内科、消化器科、産婦人科、療養で

72床を有しております。

看護理念「来院されたすべての患者さまに満足していただける看護の提供」を軸に優しさ、あたたかさ、充実したケアの提供を心がけるとともに、医療安全対策、感染対策にも力をいれております。

又、昨年より実行している患者さまからのアンケートの声を一つ一つ真摯に受け止め、改善すべき点は改善し、皆様に信頼され親しまれる地域密着型病院としてがんばっていきたいと思います。



私の○○



私の闘病記 国保すさみ病院 河野 佐和子

皆さん毎日毎日忙しく勤務されていることと思います。そういう時は、「ちょっとゆっくり寝てみたい・休みたい」と思うことが多く、日常生活を送っていると思います。健康で働けることがなによりの宝であることを、昨年体験しました。朝5時頃急に腹痛があり目が覚め、痛み止めを服用しましたが治まらず病院へ連れてもらうことになりました。診察を受け処置をしていただき痛みは軽減しました。

そのまま仕事を続け、昼過ぎより今度は激痛があり入院。胆石と診断され、痛みが軽減した後に、腹腔鏡下で手術。3週間余し職場を離れ治療及び自宅安静をしていました。健康に自信があった自分でしたが、もちろん崩れました。職場で働いている時の生き生きとした生活感。病んでいる方のお世話や病院の中を駆け回って働けるありがたさ・身にしみて感じました。

リレーエッセイ 「インディアカ」 ★ 友達の輪 NO.21

須佐病院

森本 小由里



一昨年前よりインディアカを始めた。七面鳥の羽根がついたインディアカボールを手で打つスポーツで、ルールはバレーボールに似ている。週に2回の練習で、足には青アザが絶えない。おかげで白衣姿も断然パンツスタイルが多くなった。どんなに仕事で疲れていても練習に行く。いろんな世代のメンバー達との交流がその原動力。新人の私は毎回学ぶことも多い。基礎技術を身につけることをここ数年の目標に、今日も頑張ります!

(次回は、向陽病院 井岡由起子さんです)

〜〜 東洋羽毛のサービス 〜

- | | |
|--------|--|
| リフォーム | 古くなったお布団を、新品同様にリフレッシュします。羽毛は、きれいに洗浄して、新しい生地に詰め替えます。また、使わなくなったダブルを、シングル4枚などに、作り替える事も出来ます。 |
| 補修・お直し | 穴が空いてしまったり、破れてしまった時は、補修します。 |
| クリーニング | 大きなお布団を、クリーニング店まで持って行く必要はありません。宅急便で、ご自宅まで取りに伺います。 |
| 特別注文 | 製造メーカーなので、ご希望のサイズの、お布団を作れます |



※お布団の事なら、何でもご相談下さい。

社団法人 和歌山県看護協会 推薦

東洋羽毛工業(株)大阪営業所

和歌山店 〒6408329和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F
フリーダイヤル 0120-32-7766

※ 阪和営業所から和歌山店に変更になりました

大阪店 〒564-0062大阪府吹田市垂水町3-8-13
フリーダイヤル 0120-88-2104



ホームページアドレス
<http://www.toyoumo.co.jp>

平成19年度 役員・各委員及び地区支部長名簿

(★印は委員長)

役職名	氏名	役職名	氏名
役員		広報委員	下 中 和 也 寺 本 仲 み 米 坂 知 子 岡 田 知 美 松 井 麻 亮 岩 井 本 雄 ★ 中 林 正 良 品 田 多 美 三 谷 弘 知 谷 平 三 美 向 井 安 子 ★ 中 萩 規 子 東 庄 司 由 津 中 谷 美 ★ 辻 山 美 西 山 恵 浦 山 亜 楠 岡 冴 若 林 保 永 井 都 美
会長	谷 眞 子	準備委員	★ 下 中 和 也 寺 本 仲 み 米 坂 知 子 岡 田 知 美 松 井 麻 亮 岩 井 本 雄 ★ 中 林 正 良 品 田 多 美 三 谷 弘 知 谷 平 三 美 向 井 安 子 ★ 中 萩 規 子 東 庄 司 由 津 中 谷 美 ★ 辻 山 美 西 山 恵 浦 山 亜 楠 岡 冴 若 林 保 永 井 都 美
第一副会長	柏 木 眞 弓 美	推薦委員	★ 中 林 正 良 品 田 多 美 三 谷 弘 知 谷 平 三 美 向 井 安 子 ★ 中 萩 規 子 東 庄 司 由 津 中 谷 美 ★ 辻 山 美 西 山 恵 浦 山 亜 楠 岡 冴 若 林 保 永 井 都 美
第二副会長	高 岸 壽 弥 智 世	業務委員	★ 中 萩 規 子 東 庄 司 由 津 中 谷 美 ★ 辻 山 美 西 山 恵 浦 山 亜 楠 岡 冴 若 林 保 永 井 都 美
理事 (書記長)	小 田 垣 弥 智 世	看護学研究学会委員	★ 辻 山 美 西 山 恵 浦 山 亜 楠 岡 冴 若 林 保 永 井 都 美
〃 (保健師職能委員長)	川 口 江 美 子	〃	〃
〃 (助産師職能委員長)	加 藤 眞 弓 子	〃	〃
〃 (看護師職能委員長)	玉 置 澄 子	〃	〃
〃 (伊都地区支部長)	岩 本 多 代	〃	〃
〃 (那賀地区支部長)	城 本 依 穂	〃	〃
〃 (和歌山地区支部長)	谷 山 下 美 有 紀	〃	〃
〃 (海南・海草地区支部長)	松 下 津 也 子	〃	〃
〃 (有田地区支部長)	土 橋 ま だ か	〃	〃
〃 (日高地区支部長)	★ 芝 佳 子	〃	〃
〃 (田辺地区支部長)	大 川 知 子	在宅看護推進委員	★ 宮 川 啓 子 古 川 紀 子 石 橋 隆 子 敷 井 上 重 ★ 谷 本 加 恵 岩 脇 節 子 秋 月 幸 子 横 谷 保 子 湯 村 桂 子 ★ 高 原 上 美 仁 林 木 敬 山 田 美 知 ★ 石 北 橋 隆 森 本 智 子 上 澤 千 恵 田 村 佳 子 ★ 大 西 山 村 吉 林 字 京 子 学 会 長 眞 子 ★ 谷 委 員 長 眞 子 鈴 木 幸 子 柏 谷 恵 子 池 下 かり 中 尾 ひ ろ ノ 杭 瀬 結 美 服 部 園 子 東 中 直 子 木 村 佐 多 子
〃 (新宮・串本地区支部長)	河 野 見 和 美	〃	〃
全区理事	宮 井 千 佳 代	〃	〃
監事	坂 口 ス マ 子	〃	〃
〃	林 敬 子	〃	〃
〃	鈴 木 俊 男	〃	〃
職能委員		特別委員	
保健師職能委員	★ 川 口 江 美 子	認定看護管理者教育運営委員	★ 上 田 雅 代 仁 木 尚 司 東 田 裕 子 寒 川 津 子 小 谷 典 子 山 谷 和 美 ★ 宮 川 啓 子 古 川 紀 子 石 橋 隆 子 敷 井 上 重 ★ 谷 本 加 恵 岩 脇 節 子 秋 月 幸 子 横 谷 保 子 湯 村 桂 子 ★ 高 原 上 美 仁 林 木 敬 山 田 美 知 ★ 石 北 橋 隆 森 本 智 子 上 澤 千 恵 田 村 佳 子 ★ 大 西 山 村 吉 林 字 京 子 学 会 長 眞 子 ★ 谷 委 員 長 眞 子 鈴 木 幸 子 柏 谷 恵 子 池 下 かり 中 尾 ひ ろ ノ 杭 瀬 結 美 服 部 園 子 東 中 直 子 木 村 佐 多 子
〃	加 藤 眞 弓 子	〃	〃
〃	玉 置 澄 子	〃	〃
〃	岩 本 多 代	〃	〃
〃	城 本 依 穂	〃	〃
〃	谷 山 下 美 有 紀	〃	〃
〃	松 下 津 也 子	〃	〃
〃	土 橋 ま だ か	〃	〃
助産師職能委員	★ 芝 佳 子	〃	〃
〃	大 川 知 子	〃	〃
〃	田 恵 津 子	〃	〃
〃	芝 峰 利 美 子	〃	〃
〃	出 崎 陽 好 美 子	〃	〃
〃	東 山 好 靖 代	〃	〃
〃	宮 本 靖 代	〃	〃
看護師職能委員	★ 峰 平 一 二 美	〃	〃
〃	森 澤 裕 己 子	〃	〃
〃	板 坂 茂 子	〃	〃
〃	馬 谷 初 美 子	〃	〃
〃	畑 中 優 子	〃	〃
〃	阪 部 千 加 美	〃	〃
〃	津 川 篤 美 子	〃	〃
〃	吉 田 つ ぐ み 峰	〃	〃
〃	廣 畑 美 峰	〃	〃
常任委員		「まちの保健室」運営委員	
社会経済福祉委員	★ 児 玉 百 合 子 野 田 ますみ 前 勢 佐 知 子 橋 本 千 佳 子 吉 村 い さ 子	〃	〃
〃	★ 松 宮 克 明 子	〃	〃
〃	谷 口 加 代 子	〃	〃
〃	栗 原 久 美 子	〃	〃
〃	清 水 多 津 子	〃	〃
〃	橋 本 佳 代 子	〃	〃
〃	川 崎 紀 子	〃	〃
〃	堀 永 和 美 子	〃	〃
〃	平 田 ゆ か 子	〃	〃
〃	竹 中 裕 子	〃	〃
〃	竹 内 つ や こ り 子	〃	〃
〃	久 村 み の り 子	〃	〃
〃	岡 本 知 春 子	〃	〃
〃	★ 八 幡 春 美 子	〃	〃
〃	石 徹 白 しのぶ 子	〃	〃
〃	家 高 知 子	〃	〃
〃	北 川 律 子	〃	〃
〃	谷 坂 次 郎	〃	〃

和歌山県看護協会の動き

運営に関する会議

平成19年度 第3回 理事会

開催日時 平成19年7月4日 10:00～12:30

内容

1. 通常総会での決議事項の確認
 - 1) 定款の一部改正と組織機能図について確認
 - 2) 平成19年度事業の実施について
 - ①セカンドキャリアの会員の協会事業へ協力を依頼する場合の報酬について予算の範囲内で検討する。
 - ②公益性社団法人としての申請について19年度に準備し、20年度の総会の承認を得て申請する。
 - ③新看護研修センター推進に関する事項
看護研修センター将来構想検討委員会から看護研修センター建設推進委員会へ委員会名を変更する。
 - ④日本看護協会開催の「生活習慣病予防活動支援プログラム」研修に保健師職能から2名参加する。
 - ⑤認定看護管理者教育課程セカンドレベルの教育機関として開設準備をする。
 - ⑥日本看護学会「看護管理」開催への協力について
 - ⑦訪問看護推進事業準備基金の運用に関する規定について
2. 第7号議案 看護研修センターの土地獲得と建設計画(案)について継続審議に関する取り扱いについて
会員が正確な情報が得られていない、現状では疑問を持ち不安が大きいという意見があり、地区支部で会員が何に疑問を抱いているか把握し、それに対して説明するQ&Aを作成し、その後会員が結論を出せるようにする。
3. 常任・特別委員会への諮問事項について
資料に示す内容を各委員会へ諮問する。
4. 平成19年度地区支部活動及び助成金について
助成金は繰り越しが多くならないよう地区として充実した活動にしてもらいたい。
5. 平成20年度県協会の運営に対する提案・要望事項について
各職能委員会・地区支部から提出してもらう。
6. その他
医療功労賞の推薦について

第2回 合同運営会議

開催日時 平成19年7月4日 13:30～16:00

出席メンバー 役員理事、常任・特別委員会委員長

内容

1. 常任・特別委員会への諮問事項について
内容は別表の通り
2. 各委員会からの提案・要望について

平成19年度各委員会への諮問事項

常任委員会

委員会名	諮問事項
社会経済福祉委員会	①看護職確保と職場定着の促進に関すること 日本看護協会の取り組みについて推進 (ナースセンターと協力して) ②看護職の禁煙支援リーダーの支援と禁煙施設の把握
教育委員会	①平成19年度教育研修の実施 ②平成19年度教育研修に関する評価 ③平成20年度教育計画への参画
広報委員会	①県看護協会会報「黒潮」の充実 ②効果的な広報活動の検討 県看護協会ホームページとの関連で
準備委員会	①平成19年度通常総会の運営に対する評価 ②平成20年度通常総会の準備
推薦委員会	①平成20年度県看護協会理事・委員改選の候補者に関すること
業務委員会	①医療・看護安全対策への取り組み ②医療安全管理者養成研修 ③医療安全管理者ネットワークづくり
看護研究学会委員会	①平成20年度和歌山県看護研究学会の準備・運営 平成20年3月8日開催 ②和歌山県看護研究学会の活性化について ③平成20年度和歌山県看護研究学会の方針について ④近畿地区看護研究学会開催への協力・支援

特別委員会

委員会名	諮問事項
認定看護管理者教育委員会	①平成19年度認定看護管理者教育(ファーストレベル)実施と評価 ②認定看護管理者(ファーストレベル)の認定に関すること ③平成20年度認定看護管理者(ファーストレベル)の教育企画 ④フォローアップ研修の企画・運営 ⑤看護管理者教育課程セカンド開設の準備
在宅看護推進委員会	①在宅看護の推進に関すること 18年度の調査より、在宅看護を推進する上での課題を明確にする ②ナースセンター事業「在宅看護推進事業」の運営への協力
看護研修センター建設推進委員会	看護研修センターの移転にむけて検討 具体的な検討
准看護師委員会	①准看護師研修への協力 ②看護師2年課程通信制について准看護師への情報提供と支援・進学希望者の把握
まちの保健室運営委員会	①平成19年度の開催と運営について ②開催場所の拡大について検討
セカンドキャリア事業運営委員会	①セカンドキャリア事業計画と運営 ②セカンドキャリア登録の促進 ③セカンドキャリア開発と活用について
日本看護学会「看護管理」準備委員会	第38回日本看護学会「看護管理」準備・運営に関すること 平成19年10月25、26日開催

会員の皆さまへのお知らせ

●地区別施設会員代表者会議 8地区支部で開催

開催日程

8月9日(木)・10日(金)・17日(金)

20日(月)・27日(月)

●休館日のお知らせ

8月13日～16日まで休館とさせていただきます。

